

# ジェンダー研究センター彙報 <平成14年度>

(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

職名は発令時による

## 平成14(2002)年度 研究プロジェクト概要

| 年月日   | テーマ   | 報告者、評者等   |
|---|---|---|
| [グローバル化時代のケアとジェンダー]<br>“Care, Gender and Globalization” |   |   |
| 平成14年7月3日   | セミナー「ケア、社会政策、ジェンダー—概念的検討」<br>“Thinking about the concept of Care, Social Policy and Gender”   | カルラ・リッセウ (Carla Risseuw) (ライデン大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)<br>コメンテーター：袖井孝子 (お茶の水女子大学生活科学部教授)                        |
| 平成14年7月10日  | セミナー「地球的課題としての高齢化—南北のジェンダー政策課題」<br>“The issue of world-wide processes of societal ageing: Global and Local policies and practices of social inclusion and exclusion”                          | カルラ・リッセウ (Carla Risseuw) (ライデン大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)<br>コメンテーター：小島宏 (国立社会保障・人口問題研究所国際関係部部長)                   |
| 平成14年7月17日  | セミナー「福祉国家の撤退—オランダの事例」<br>“Globalization and Care: The retraction of Northern European welfare states: The case of the Netherlands as studied by a joint team of Indian and Dutch researchers” | カルラ・リッセウ (Carla Risseuw) (ライデン大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)<br>コメンテーター：廣瀬真理子 (東海大学教養学部助教授)                           |
| 平成14年7月24日  | セミナー「ケアと文化的相違—東アフリカの伝統治療とケア」<br>“Care and Cultural Difference: A case of Shamanism and Care in Eastern Africa: She’s keeping her sadness like porridge in the mouth”                          | カルラ・リッセウ (Carla Risseuw) (ライデン大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)<br>コメンテーター：波平恵美子 (お茶の水女子大学文教育学部教授)                       |
| 平成14年7月31日  | セミナー「社会調査と倫理—フェミニスト的ケア観を中心に」<br>“Research and Methodology: Feminist ideals of action—research, care, relatedness and friendship”  | カルラ・リッセウ (Carla Risseuw) (ライデン大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)<br>コメンテーター：柘植あづみ (明治学院大学社会学部助教授)                         |
| [ミリタリズムとジェンダー]<br>“Militarism and Gender”               |   |   |
| 平成15年1月30日  | セミナー<br>「フェミニズムから見た <国際政治経済>」<br>“Making Feminist Sense of “International Political Economy”: Feminist Looking at Globalized “Cheap Labor””   | シンシア・エンロー (Cynthia Enloe) (クラーク大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)<br>コメンテーター：上野千鶴子 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)                    |
| 平成15年2月13日  | セミナー<br>「フェミニズムから見た <安全保障>」<br>“Making Feminist Sense of “National Security””   | シンシア・エンロー (Cynthia Enloe) (クラーク大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)<br>コメンテーター：御巫由美子 (国際基督教大学準教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター国内客員教授) |
| 平成15年2月20日  | セミナー<br>「なぜ軍部の女性たちに注目するのか？」<br>“Why Pay Close Attention to Women inside Militaries?”  | シンシア・エンロー (Cynthia Enloe) (クラーク大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)<br>コメンテーター：佐藤文香 (慶応大学訪問研究員)                             |

夜間セミナー

|        | 年 月 日   | テ ー マ  | 報告者、評者等  |
|--------|---|--|--|
| 夜間セミナー | 平成15年 2月27日   | セミナー<br>「アフガニスタンの女性から学ぶこと」<br>“Lessons We Can Learn from the Women of Afghanistan”   | シンシア・エンロー (Cynthia Enloe) (クラーク大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)<br>コメンテーター：竹中千春 (明治学院大学国際学部教授)   |
| 講演会    | 平成14年 4月24日   | 公開講演会「90年代の中国文学における女性の欲望対象化」   | 劉慧英 (リウ・ホイイン) (中国現代文学館研究員)<br>司会：宮尾正樹 (お茶の水女子大学文教育学部教授)、通訳：河村昌子 (千葉商科大学専任講師)   |
|        | 平成15年 1月16日   | 公開講演会「フェミニズムで読む国際政治」<br>“How Does a Feminist Curiosity Make Us All Smarter about International Politics?”  | シンシア・エンロー (Cynthia Enloe) (クラーク大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)<br>ディスカッサント：御巫由美子 (国際基督教大学準教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター国内客員教授)、司会：館かおる (お茶の水女子大学ジェンダー研究センター教授)、通訳：伊藤るり (お茶の水女子大学ジェンダー研究センター教授)                 |
|        | 平成15年 3月15日   | 公開講演会「軍事化の兆しを知るために—フェミニズムが与えるいくつかのヒント—」<br>“How Can We Tell If We Are Militarized?: Some Feminist Clues”   | シンシア・エンロー (Cynthia Enloe) (クラーク大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)<br>コメンテーター：古沢希代子 (恵泉女学園大学大学院助教授)、武者小路公秀 (中部大学教授)、通訳：田中深雪 (立教大学非常勤講師)、伊藤るり (お茶の水女子大学ジェンダー研究センター教授)  |
| シンポジウム | 公開シンポジウム<br>「国際協力における大学の役割—ジェンダー課題を中心に」<br>(お茶の水女子大学大学院人間文化研究科発達社会科学専攻生活・開発科学系開発・ジェンダー論コース協賛) |  | 司会：波平恵美子 (お茶の水女子大学ジェンダー研究センター長) / 館かおる (お茶の水女子大学ジェンダー研究センター教授) / 石塚道子 (お茶の水女子大学大学院人間文化研究科開発・ジェンダー論コース長)  |
|        | 第I部「国際協力とジェンダー研究—その現状と課題」   |  |  |
|        |   | 「オランダにおける国際協力とジェンダー研究」   | 報告：カルラ・リッセウ (Carla Risseeuw) (ライデン大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)   |
|        |   | 「日本における国際協力とジェンダー研究」   | 報告：伊藤るり (お茶の水女子大学ジェンダー研究センター教授)  |
|        |   | 「アジアにおけるジェンダー研究ネットワークの可能性」   | 報告：大沢真理 (東京大学社会科学研究所教授)  |
|        | 第II部「国際協力における大学の役割」   |  |  |
|        | 平成14年 5月25日   | 「日本の大学における開発研究教育の現状と課題」  | 報告：長田博 (名古屋大学大学院教授)  |
|        |   | 「AIT-Gender and Development Studiesの現状と課題」   | 報告：日下部京子 (アジア工科大学助教授)  |
|        |   | 「AIT Gender Workshop 参加報告」   | 報告：本学開発・ジェンダー論コース大学院生  |
|        | 「アフガニスタンの女性支援と女子大学コンソーシアム」  | 報告：篠塚英子 (本学学長補佐・アフガニスタン女性支援検討委員会)  |  |
|        | 「国際協力と人材養成」   | 報告：伊藤光子 (外務省国際機関人事センター所長)  |  |
|        | 平成14年11月21日   | 公開シンポジウム「グローバル化とオランダの福祉国家—ケアにおける私的領域・公的領域の問題をめぐって—」<br>“Globalisation and a Welfare State: The Issue of Private and Public Care—The Issue of the Netherlands—” | カルラ・リッセウ (Carla Risseeuw) (ライデン大学教授、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター外国人客員教授)<br>コメンテーター：久場嬉子 (龍谷大学経済学部教授) / 廣瀬真理子 (東海大学教養学部助教授)<br>司会：袖井孝子 (お茶の水女子大学生活科学部教授) / 平岡公一 (お茶の水女子大学文教育学部教授)、通訳：伊藤るり (お茶の水女子大学ジェンダー研究センター教授) |

|                                | 年 月 日  | テ ー マ   | 報告者、評者等   |
|--------------------------------|--|---|---|
| 「国際移民とジェンダー再編」研究会              | 平成14年 4月20日  | 「日比国際結婚の家計組織」の報告                                      | 神浦奈津子(お茶の水女子大学大学院修士課程修了)  |
|                                | 平成14年 5月18日  | 「家計組織化の概念と研究方法」の報告                                    | 御船美智子 (お茶の水女子大学生活科学部教授)   |
|                                | 平成14年 7月13・14日   | 調査進捗状況報告のための合宿  |   |
|                                | 平成15年 1月12・13日   | 調査進捗状況報告のための合宿  |   |
| 「ジェンダーと健康(GHS)」研究会             | 平成14年 5月11日  | 成果刊行のための調整会議  |   |
|                                | 平成14年 6月22日  | 「配偶者からの暴力の実態と今後の課題」                                   | 土井真知 (内閣府男女共同参画局推進課暴力対策専門官)   |
|                                | 平成14年11月23日  | 成果刊行のための調整会議  |   |
| 「フェミニズムと現代思想」研究会/映像表現とジェンダー研究会 | 平成14年 5月15日  | 山崎博子監督『ジャクスタ・共生する』『いのちの生まれる時、ブラジルにて』ビデオ鑑賞             | 山崎博子 (映画監督) による講演   |
|                                | 平成14年 6月29日  | 伏水修監督『東京ラブソディ』ビデオ鑑賞                                   | 宜野座菜央見 (ロサンゼルス大学カリフォルニア校博士課程) による報告   |
|                                | 平成14年10月18日  | 浜野佐知監督『百合祭』ビデオ鑑賞                                      | 浜野佐知 (映画監督) による講演   |
|                                | 平成14年 7月30日  | 根来祐監督『そして彼女は片目を塞ぐ』ビデオ鑑賞                               | 根来祐 (映画監督) による講演  |
|                                | 平成14年12月13日  | 溝口健二監督『赤線地帯』ビデオ鑑賞                                     | 三橋順子 (女装家、トランスジェンダー社会史研究会) による報告  |
| キャンパス・セクシュアルハラスメント研究会          | 平成14年 4月22日<br>／5月13日／6月3日・10日・24日<br>／7月15日／9月30日／10月28日／11月18日／25日／12月9日／平成15年 1月27日／3月17日 | アメリカのキャンパスセクシュアル・ハラスメントに関する文献の購読、取り組みの検討              |   |
|                                | 平成14年7月29日   | 公開セミナー<br>「司法のDV対応の発展と充実—警察、裁判所、検察等の司法のDV認識の変革をめざして—」 | ジュリー・フルチャー (J. Fulcher) (全米反DVコアリション公共政策部長 the Public Policy Director for the National Coalition Against Domestic Violence)<br>コメンテーター：角田由紀子 (弁護士) / 原田恵理子 (全国婦人相談員協議会会長)、司会：戒能民江 (お茶の水女子大学生活科学部教授) |

## 1. 人事関係

### 1) 運営委員会名簿 (括弧内は在任期間)

|                 |       |                        |
|-----------------|-------|------------------------|
| ジェンダー研究センター長(併) | 波平恵美子 | (平成12年4月1日～平成16年3月31日) |
| 文教育学部教授         | 石塚 道子 | (平成14年4月1日～平成16年3月31日) |
| 文教育学部助教授        | 坂本佳鶴恵 | (同上)                   |
| 理学部教授           | 前田ミチエ | (同上)                   |
| 理学部助教授          | 古川はづき | (同上)                   |
| 生活科学部教授         | 駒城 素子 | (同上)                   |
| 生活科学部教授         | 戒能 民江 | (同上)                   |
| 人間文化研究科助教授      | 米田 俊彦 | (同上)                   |
| 人間文化研究科教授       | 竹村 和子 | (同上)                   |
| ジェンダー研究センター教授   | 伊藤 るり | (平成12年4月1日～)           |
| ジェンダー研究センター教授   | 河野貴代美 | (平成14年11月1日～)          |
| ジェンダー研究センター教授   | 館 かおる | (平成8年5月11日～)           |

### 2) スタッフ名簿 (括弧内は在任期間)

|            |                           |   |
|------------|---------------------------|---|
| センター長(併)   | 波平恵美子                     | (平成12年4月1日～)  |
| 専任教授       | 伊藤 るり                     | (平成12年4月1日～)  |
|            | 河野貴代美                     | (平成14年11月1日～)   |
|            | 館 かおる                     | (平成8年5月11日～)  |
| 外国人客員教授    | Carla Risseuw (カルラ・リッセウ)  | (オランダ、ライデン大学社会科学部教授)<br>(平成14年4月1日～平成14年11月30日)       |
|            | Cynthia Enloe (シンシア・エンロー) | (米国、クラーク大学政治学・国際関係学教授)<br>(平成14年12月27日～平成15年3月31日)    |
| 客員教授(国内)   | 川嶋 瑤子                     | (スタンフォード大学「女性とジェンダー研究所」研究員)<br>(平成14年4月1日～平成15年3月31日) |
|            | 小林富久子                     | (早稲田大学教授) (同上)  |
|            | 御巫由美子                     | (国際基督教大学準教授) (同上)                                     |
| 研究員(非常勤講師) | 大西 祥世                     | (平成14年4月1日～平成15年3月31日)                                |
| 研究協力員      | 朝倉 京子                     | (新潟県立看護大学助教授)<br>(平成13年4月15日～平成14年3月31日)              |

|               |                  |                         |
|---------------|------------------|-------------------------|
| 足立真理子         | (大阪女子大学教授)       | (同上)                    |
| 稲葉奈々子         | (茨城大学人文学部助教授)    | (同上)                    |
| 浮ヶ谷幸代         | (千葉大学非常勤講師)      | (同上)                    |
| 大井 玄          | (国立環境研究所参与)      | (同上)                    |
| 大海 篤子         | (法政大学大学院非常勤講師)   | (同上)                    |
| 川添 裕子         | (津田塾大学非常勤講師)     | (同上)                    |
| 黒川 知美         | (芝浦工業大学非常勤講師)    | (同上)                    |
| 戈木クレイグヒル滋子    | (東京都立保健科学大学助教授)  | (同上)                    |
| 酒井 順子         | (エセックス大学歴史学部研究員) | (同上)                    |
| 竹中 千春         | (明治学院大学教授)       | (同上)                    |
| 田澤 薫          | (尚綱女学院短期大学助教授)   | (同上)                    |
| 田中 洋美         | (ポッフム大学社会学部博士課程) | (同上)                    |
| 柘植あづみ         | (明治学院大学助教授)      | (同上)                    |
| 外山 紀子         | (津田塾大学専任講師)      | (同上)                    |
| 中山まき子         | (鳴門教育大学助教授)      | (同上)                    |
| 長妻由里子         | (高知女子大学専任講師)     | (同上)                    |
| 根村 直美         | (日本大学助教授)        | (同上)                    |
| 前田 侯子         | (本学名誉教授)         | (同上)                    |
| 松田 久子         | (元理化学研究所非常勤職員)   | (同上)                    |
| 山崎美和恵         | (埼玉大学名誉教授)       | (同上)                    |
| 山西 貞          | (本学名誉教授)         | (同上)                    |
| 申 琪榮          | (ワシントン大学博士課程)    | (平成14年9月30日～平成15年3月31日) |
| Mara Patessio | (ケンブリッジ大学博士課程)   | (平成14年11月1日～平成15年3月31日) |

|         |                     |                             |
|---------|---------------------|-----------------------------|
|         | 村田 陽平<br>(京都大学博士課程) | (平成15年2月1日～<br>3月31日)       |
| 研究機関研究員 | 森本 恭代               | (平成14年4月1日～<br>平成15年3月31日)  |
| 研究支援推進員 | 小山 直子               | (平成14年4月1日～<br>平成15年3月31日)  |
| 教務補佐員   | 造力 由美               | (平成14年4月1日～<br>平成15年3月31日)  |
|         | 竹内 ゆり               | (同上)                        |
|         | 花岡ナホミ               | (同上)                        |
|         | 酒向 治子               | (平成14年4月16日～<br>平成15年3月31日) |
|         | 長谷川和美               | (平成15年1月16日～<br>3月31日)      |

## 2. 会議関係

〈運営委員会の開催〉

平成14年4月15日／5月20日／6月10日／7月8日／9月18日／10月8日／10月17日／11月18日／12月9日／平成15年1月20日／2月13日／3月10日

## 3. 研究調査活動

### 1) センター共同研究プロジェクト

「国際移動とジェンダー」に関する研究

〔研究担当〕

伊藤 るり (ジェンダー研究センター教授)

足立眞理子 (ジェンダー研究センター研究協力員、大阪女子大学教授)

稲葉奈々子 (ジェンダー研究センター研究協力員、茨城大学助教授)

酒井 順子 (ジェンダー研究センター研究協力員、エセックス大学研究員)

篠崎 香子 (本学人間文化研究科博士後期課程)

徐 阿貴 (本学人間文化研究科博士後期課程)

藤掛 洋子 (本学人間文化研究科博士後期課程)

柳 蓮淑 (本学人間文化研究科博士後期課程)

ブレンダ・テネグラ (本学人間文化研究科博士前期課程)

〔研究内容〕

①(1)国際移動／移民研究におけるジェンダー分析の理論的枠組みに関する検討、(2)女性移住者のエンパワーメントの可能性に関する、またこれに資する調査研究

②「国際移民とジェンダー再編」研究会を開催した。

4月20日(土)神浦奈津子(本学大学院修士課程修了)による「日比国際結婚の家計組織」の報告

5月18日(土)御船美智子(本学生活科学部教授)による「家計組織化の概念と研究方法」の報告

7月13日(土)・14日(日)調査進捗状況報告のための合宿を行なった。於：国立女性教育会館

平成15年

1月12日(日)・13日(月)調査進捗状況報告のための合宿を行なった。於：国立女性教育会館

③海外及び国内でのインタビュー調査実施

「ジェンダーと健康」に関する研究

〔研究担当〕

ジェンダーと健康(GHS)研究会メンバー

根村 直美(ジェンダー研究センター研究協力員・日本大学助教授)

大井 玄(ジェンダー研究センター研究協力員・国立環境研究所参与)

戈木クレイグヒル滋子(ジェンダー研究センター研究協力員・東京都立保健科学大学助教授)

柘植あづみ(ジェンダー研究センター研究協力員・明治学院大学助教授)

田澤 薫(ジェンダー研究センター研究協力員・尚絅女学院短期大学助教授)

中山まき子(ジェンダー研究センター研究協力員・鳴門教育大学助教授)

朝倉 京子(ジェンダー研究センター研究協力員・新潟県立看護大学助教授)

浮ヶ谷幸代(ジェンダー研究センター研究協力員・千葉大学非常勤講師)

川添 裕子(ジェンダー研究センター研究協力員・津田塾大学非常勤講師)

松原 洋子(立命館大学教授)

芦野由利子(日本家族計画連盟)

高橋 都(東京大学大学院医学系研究科助手)

原 ひろ子(放送大学教授)

東 優子(ノートルダム清心女子大学助教授)

兵藤 智佳(早稲田大学アジア太平洋研究センター助手)

宮原 忍(母子愛育会日本家庭子ども総合研究所)

〔研究内容〕

①(1)「健康に対する権利」および「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」の限界に関する研究、(2)「健康」あるいは「リ

プロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関する政策論、あるいは政策に関する事例研究、(3)性暴力に関する研究、(4)男性の「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の研究。

②「ジェンダーと健康 (GHS) 研究会」を開催した。於：附属図書館第二会議室 (13:00~17:00)。

5月11日 (土) 成果刊行のための調整会議

6月22日 (土) 土井真知 (内閣府男女共同参画局推進課暴力対策専門官)「配偶者からの暴力の実態と今度の課題」

11月23日 (土) 成果刊行のための調整会議

③『ジェンダーで読む健康/セクシュアリティー健康とジェンダーII』(明石書店)を刊行した (2003年2月)。

#### 「映像表現とジェンダー」に関する研究

〔研究担当〕

小林富久子 (ジェンダー研究センター客員教授・早稲田大学教授)

館 かつお (ジェンダー研究センター教授)

磯山久美子 (本学人間文化研究科博士後期課程)

フェミニズムと現代思想「映像表現とジェンダー」研究会メンバー

〔研究内容〕

①フェミニズムと現代思想「映像表現とジェンダー」研究会を開催。於：附属図書館第二会議室 (13:00~17:00)

5月15日 (水) 山崎博子監督『ジャクスタ・共生する』『いのちの生まれる時、ブラジルにて』ビデオ鑑賞。山崎博子 (映画監督) による講演。

6月29日 (土) 伏水修監督『東京ラブソディ』ビデオ鑑賞。宜野座菜央見 (ロサンゼルス大学カリフォルニア校博士課程) による報告。

7月30日 (火) 浜野佐知監督『百合祭』ビデオ鑑賞。浜野佐知監督による講演。

10月18日 (金) 根来祐監督『そして彼女は片目を塞ぐ』ビデオ鑑賞。根来祐監督による講演。

12月13日 (金) 溝口健二監督『赤線地帯』ビデオ鑑賞。三橋順子 (女装家、トランスジェンダー社会史研究会) による報告。

②お茶の水女子大学ジェンダー研究センター/富山太佳夫・小林富久子・館かつお編『フェミニズムと知』世織書房の刊行に向け、執筆・編集作業を行なった。(成果刊行)

#### 「大学教育とジェンダーIV」に関する研究

〔研究担当〕

川嶋 瑤子 (ジェンダー研究センター客員教授)

館 かつお (ジェンダー研究センター教授)

外山 紀子 (ジェンダー研究センター研究協力員・津田塾大学専任講師)

黒川 知美 (ジェンダー研究センター研究協力員・芝浦工業大学非常勤講師)

〔研究内容〕

①川嶋瑤子、館かつお編『大学教育とジェンダー』単行本刊行に向け、執筆・編集作業を行なった。

#### 「女性と自然科学」に関する研究

〔研究担当〕

山西 貞 (ジェンダー研究センター研究協力員・本学名誉教授)

松田 久子 (ジェンダー研究センター研究協力員・元理化学研究所非常勤職員)

山崎美和恵 (ジェンダー研究センター研究協力員・埼玉大学名誉教授)

前田 侯子 (ジェンダー研究センター研究協力員・本学名誉教授)

館 かつお (ジェンダー研究センター教授)

小山 直子 (ジェンダー研究センター研究支援推進員)

〔研究内容〕

①保井コノ資料・辻村みちよ資料の整理及び研究。

②湯浅年子資料の内、物理学研究以外の業績の整理及び研究。

③加藤セチ資料の整理と年報への論文執筆準備を行なった。

④『辻村みちよ資料目録』を刊行した。(2003年3月)

#### 「大学におけるセクシュアルハラスメント」に関する研究

〔研究担当〕

戒能 民江 (ジェンダー研究センター研究協力員・本学生活科学部教授)

大西 祥世 (ジェンダー研究センター非常勤講師)

上田 智子 (横浜市立大学非常勤講師)

吉川真美子 (本学人間文化研究科博士後期課程)

田宮 遊子 (本学人間文化研究科博士後期課程)

〔研究内容〕

①アメリカのキャンパスセクシュアル・ハラスメントに関する文献 (Sandler. B. & Shoop. R. (eds.), 1997, *Sexual*

*Harassment on Campus*, MA: Allyn and Bacon) を講読した。

- ②アメリカの大学におけるセクシュアル・ハラスメント防止ガイドライン等の情報収集をインターネット等により行なった。
- ③アメリカのキャンパスセクシュアル・ハラスメントに関する判例を収集し、検討した。
- ④アメリカ・カナダ等諸外国の大学の取り組みについて検討した。
- ⑤日本における取り組みへの提言についての検討を行なった。
- ⑥「キャンパス・セクシュアルハラスメント研究会」を開催した。
- 平成14年4月22日(月)、5月13日(月)、6月3日(月)、10日(月)、24日(月)、7月15日(月)、9月30日(月)、10月28日(月)、11月18日(月)、25日(月)、12月9日(月)、平成15年1月27日(月)、3月17日(月)。
- ⑦平成14年7月29日(月) 公開セミナー。

「司法のDV対応の発展と充実—警察、裁判所、検察等の司法のDV認識の変革をめざして」於：生活科学部本館1階会議室。参加者30名。

報告：ジュリー・フルチャー (J. Fulcher) (全米反DVコアリション公共政策部長 the Public Policy Director for the National Coalition Against Domestic Violence)

コメンテーター：角田由紀子 (弁護士)

原田恵理子(全国婦人相談員協議会会長)

司会：戒能 民江 (本学生活科学部教授)

- ⑧大西祥世が『ジェンダー研究』第6号に「自治体における男女平等オンブズパーソンの意義と課題—先行自治体を例に」を執筆した。

#### 「ジェンダー研究文献のカテゴリー化」に関する研究

〔研究担当〕

館 かおる (ジェンダー研究センター教授)

小山 直子 (ジェンダー研究センター研究支援推進員)

〔研究内容〕

増永良文 (本学理学部教授) の「重点研究経費」におけるデータベース作成研究と連携。国内外のジェンダー研究文献のデータベースを検討対象とし、ジェンダー研究文献のカテゴリー化に関する研究を行なうとともに、データベース作成のためのシステム研究を行なった。

## 2) 外国人客員教授関連プロジェクト

### 「高齢化と介護支援に関するジェンダー分析」

〔研究担当〕

カルラ・リッセウ (ジェンダー研究センター外国人客員教授・オランダ、ライデン大学教授)

伊藤 るり (ジェンダー研究センター教授)

酒向 治子 (ジェンダー研究センター教務補佐員)

〔研究内容〕

- ①カルラ・リッセウ教授が平成14年7月3・10・17・24・31日の全5回「グローバル化時代のケアとジェンダー」の夜間セミナーを行なった。於：附属図書館第2会議室、理学部3号館会議室 (18:30~20:30)、参加者延べ278名。
- 7月3日(水)「ケア、社会政策、ジェンダー—概念的検討」
- 7月10日(水)「地球的課題としての高齢化—南北のジェンダー政策課題」
- 7月17日(水)「福祉国家の撤退—オランダの事例」
- 7月24日(水)「ケアと文化的相違—東アフリカの伝統治療とケア」
- 7月31日(水)「社会調査と倫理—フェミニスト的ケア観を中心に」

- ②平成14年11月21日(土) 公開シンポジウム。

本学人間文化研究科博士後期課程人間発達科学専攻ジェンダー論講座との共催 (ジェンダー論講座講演会シリーズ第3回)

「グローバル化とオランダの福祉国家—ケアにおける私的領域・公的領域の問題をめぐって—」

於：理学部3号館会議室、参加者54名。

講演：カルラ・リッセウ教授

コメンテーター：久場 嬉子 (龍谷大学経済学部教授)

廣瀬真理子 (東海大学教養学部助教授)

司会：袖井 孝子 (本学生活科学部教授)

平岡 公一 (本学文教育学部教授)

通訳：伊藤 るり (ジェンダー研究センター教授)

- ③カルラ・リッセウ教授が『ジェンダー研究』第6号に “A Retracting Welfare State: Some Reflections on the Issues of Citizenship and Family in Relation to the Dutch Care Policy” を執筆。

### 「女性の政治参加におけるGOとNGOの連結」

〔研究担当〕

シンシア・エンロー (ジェンダー研究センター外国人客員教

授・米国クラーク大学教授)

館 かおる (ジェンダー研究センター教授)

御巫由美子 (ジェンダー研究センター国内客員教授・国際基督教大学準教授)

田中 洋美 (ジェンダー研究センター研究協力員・ポッフム大学博士課程)

酒向 治子 (ジェンダー研究センター教務補佐員)

長谷川和美 (ジェンダー研究センター教務補佐員)

〔研究内容〕

①シンシア・エンロー教授が平成15年1月30日、2月13・20・27日の全4回「ミリタリズムとジェンダー」の夜間セミナーを行なった。於：理学部3号館会議室(18:30~20:30)、参加者延べ427名。記録集作成予定。

1月30日(木)「フェミニズムから見た〈国際政治経済〉」

2月13日(木)「フェミニズムから見た〈安全保障〉」

2月20日(木)「なぜ軍部の女性たちに注目するのか?」

2月27日(木)「アフガニスタンの女性から学ぶこと」

②平成15年1月16日(土)第1回公開講演会。

「フェミニズムで読む国際政治」

於：理学部3号館7階701室、参加者104名。

講演：シンシア・エンロー教授

ディスカッサント：御巫由美子(国際基督教大学準教授)

司会：館 かおる(ジェンダー研究センター教授)

通訳：伊藤 るり(ジェンダー研究センター教授)

③平成15年3月15日(土)第2回公開講演会。

「軍事化の兆しを知るためにフェミニズムが与えるいくつかのヒント」於：理学部3号館7階701室、参加者76名。

講演：シンシア・エンロー教授

コメンテーター：古沢希代子(恵泉女学園大学大学院助教授)

武者小路公秀(中部大学教授)

司会：館 かおる(ジェンダー研究センター教授)

通訳：田中 深雪(立教大学非常勤講師)

伊藤 るり(ジェンダー研究センター教授)

〔アジア・太平洋地域におけるジェンダー〕

〔研究担当〕

ヴェラ・マッキー(ジェンダー研究センター平成13年度外国人客員教授・カーティン工科大学教授)

館 かおる(ジェンダー研究センター教授)

森本 恭代(ジェンダー研究センター研究機関研究員)

〔研究内容〕

①ヴェラ・マッキー教授が『ジェンダー研究』第6号に“Faces of Feminism in Transnational Media Space”を執筆。

②ヴェラ・マッキー教授の夜間セミナー記録集『グローバル化とジェンダー表象(シリーズ「国際ジェンダー研究」第2巻)』(御茶の水書房)の刊行に向け、編集作業を行なった。

### 3) センター個人研究

〔視覚文化/身体/ジェンダー〕

〔研究担当〕

長妻由里子(ジェンダー研究センター研究協力員・高知女子大学専任講師)

〔研究内容〕

『ジェンダー研究』に論文執筆に向け、写真による視覚表象の身体認識へ及ぼす影響、時代のイデオロギーとジェンダーとの関わりについて研究を行なった。

〔女性と選挙に関する研究〕

〔研究担当〕

大海 篤子(ジェンダー研究センター研究協力員・法政大学大学院非常勤講師)

〔研究内容〕

①近年の日本における「選挙と女性たちの動向」に関する調査研究および日米比較を行なった。

②平成12年6月の衆議院選挙と平成13年7月の参議院選挙および地方首長選挙の調査分析を行なった。

③平成14年8月20日(火)ラウンドテーブル「日米女性政治学研究者交流「なぜ、女性研究者が少ないのか」を開催した。於：附属図書館第2会議室。

### 4) 学内共同研究プロジェクト

「重点研究経費」による〈学内共同研究プロジェクト〉として、『「グローバル化とジェンダー規範に関する研究」の成果発信と今後の展開に関する研究』を行なった。

〔研究担当〕

〈代表者〉

波平恵美子(ジェンダー研究センターセンター長・本学文教育学部教授)

〈研究分担者〉

石塚 道子(本学文教育学部教授)

伊藤 るり(ジェンダー研究センター教授)



カルラ・リッセウ(ジェンダー研究センター外国人客員教授)  
熊谷 圭知(本学文教育学部助教授)  
シンシア・エンロー(ジェンダー研究センター外国人客員教授)  
館 かつお(ジェンダー研究センター教授)  
増永 良文(本学理学部教授)  
小山 直子(ジェンダー研究センター研究支援推進員)  
藤掛 洋子(本学人間文化研究科リサーチ・アシスタント)  
酒向 治子(ジェンダー研究センター教務補佐員)

[研究内容]

- ①「グローバル化とジェンダー規範」研究会開催。
- ②お茶の水女子大学「グローバル化とジェンダー規範」研究会編『「ジェンダーと開発」に関する日本語文献データベース』、同CD-ROM版、『「グローバル化とジェンダー規範」参考文献データベース』CD-ROM版を刊行(2003年3月)。

#### 4. 研究交流・成果公表活動

##### 1) 研究会・講演会・シンポジウム

平成14年4月より平成15年3月の間の発表者及びその題目は次の通りである。

4月24日(水) 公開講演会

「90年代の中国文学における女性の欲望対象化」  
於：附属図書館第2会議室、参加者40名。  
演者：劉慧英(リウ・ホイイン)(中国現代文学館研究員)  
司会：宮尾正樹(本学文教育学部教授)  
通訳：河村昌子(千葉商科大学専任講師)

5月25日(土) 公開シンポジウム

「国際協力における大学の役割—ジェンダー課題を中心に」(人間文化研究科発達社会科学専攻生活・開発科学系開発・ジェンダー論コース協賛)  
於：理学部3号館701室、参加者約112名。  
挨拶：本田和子本学学長  
来賓挨拶：タイ、アジア工科大学

Jean-Louis Armand 学長  
文部科学省研究振興局学術機関課  
太田慎一主任学術調査官

第I部「国際協力とジェンダー研究—その現状と課題」  
報告：カルラ・リッセウ(ジェンダー研究センター外国人客員教授・ライデン大学教授)  
「オランダにおける国際協力とジェンダー研究」  
伊藤 るり(ジェンダー研究センター教授)

「日本における国際協力とジェンダー研究」  
大沢 真理(東京大学社会科学研究所教授)  
「アジアにおけるジェンダー研究ネットワークの可能性」

司会：波平恵美子(ジェンダー研究センター長)  
館 かつお(ジェンダー研究センター教授)

第II部「国際協力における大学の役割」

報告：長田 博(名古屋大学大学院教授)  
「日本の大学における開発研究教育の現状と課題」

日下部京子(アジア工科大学助教授)  
「AIT-Gender and Development Studiesの現状と課題」

本学開発・ジェンダー論コース大学院生  
「AIT Gender Workshop 参加報告」  
篠塚 英子(本学学長補佐・アフガニスタン女性支援検討委員会)

「アフガニスタンの女性支援と女子大学コンソーシアム」  
伊藤 光子(外務省国際機関人事センター所長)  
「国際協力と人材養成」

司会：石塚 道子(開発・ジェンダー論コース長)  
館 かつお(ジェンダー研究センター教授)

11月21日(木) 公開シンポジウム

「グローバル化とオランダの福祉国家—ケアにおける私的領域・公的領域の問題をめぐって—」  
(本学人間文化研究科博士後期課程人間発達科学専攻ジェンダー論講座との共催 ジェンダー論講座講演会シリーズ第3回)

於：理学部3号館会議室、参加者54名  
講演：カルラ・リッセウ教授(ジェンダー研究センター外国人客員教授・ライデン大学教授)  
コメンテーター：久場 嬉子(龍谷大学経済学部教授)  
廣瀬真理子(東海大学教養学部助教授)

司会：袖井 孝子(本学生活科学部教授)  
平岡 公一(本学文教育学部教授)  
通訳：伊藤 るり(ジェンダー研究センター教授)

平成15年1月16日(木) 公開講演会

「フェミニズムで読む国際政治」  
於：理学部3号館7階701室、参加者104名。  
講演：シンシア・エンロー(ジェンダー研究センター外国人客員教授・クラーク大学教授)  
ディスカッサント：御巫由美子(ジェンダー研究セ

ンター国内客員教授・国際基督教大学準教授)  
司会：館 かおる (ジェンダー研究センター教授)  
通訳：伊藤 るり (ジェンダー研究センター教授)  
3月15日 (土) 公開講演会  
「軍事化の兆しを知るために—フェミニズムが与えるいくつかのヒント」  
於：理学部3号館7階701室、参加者76名。  
講演：シンシア・エンロー (ジェンダー研究センター外国人客員教授・クラーク大学教授)  
コメンテーター：  
古沢希代子 (恵泉女学園大学大学院助教授)  
武者小路公秀 (中部大学教授)  
司会：館 かおる (ジェンダー研究センター教授)  
通訳：田中 深雪 (立教大学非常勤講師)  
伊藤 るり (ジェンダー研究センター教授)

## 2) 研究委員会

平成14年7月8日 (月) 各プロジェクトの計画・進捗状況報告

## 3) セミナー・ワークショップ

7月3日 (水) ~31日 (水) 夜間セミナー (計5回) カルラ・リッセウ「グローバル化時代のケアとジェンダー」  
於：附属図書館第2会議室、理学部3号館会議室、参加者延べ278名。

7月29日 (月) 公開セミナー「司法のDV対応の発展と充実—警察、裁判所、検察等の司法のDV認識の変革をめざして」

於：生活科学部本館1階会議室、参加者30名。  
報告：ジュリー・フルチャー (J. Fulcher) (全米反DVコアリション公共政策部長 the Public Policy Director for the National Coalition Against Domestic Violence)

コメンテーター：

角田由紀子 (弁護士)

原田恵理子 (全国婦人相談員協議会会長)

司会：戒能 民江 (本学生活科学部教授)

1月30日 (木) ~2月27日 (木) 夜間セミナー (計4回) シンシア・エンロー「ミリタリズムとジェンダー」  
於：理学部3号館会議室、参加者延べ427名。

## 4) 刊行物

①お茶の水女子大学ジェンダー研究センター編・刊『ジェンダー研究—お茶の水女子大学ジェンダー研究センター年

報』第6号刊行 (2003年3月)

②お茶の水女子大学ジェンダー研究センター編・刊『国際協力における大学の役割—ジェンダー課題を中心に 2002 (平成14)年5月25日 (土) 公開シンポジウム記録集』(2002年10月)

③『お茶の水女子大学ジェンダー研究センター 自己点検評価報告書』(2002年10月)

④『お茶の水女子大学ジェンダー研究センター 外部評価報告書』(2003年3月)

⑤根村直美編著『ジェンダーで読む健康/セクシュアリティ—健康とジェンダーII』明石書店 (2003年2月)

⑥〈国際ジェンダー研究〉編集委員会編・タニ・バーロウ著『国際フェミニズムと中国 シリーズ〈国際ジェンダー研究〉1』御茶の水書房 (2003年3月) (タニ・バーロウ教授夜間セミナー記録集)

⑦お茶の水女子大学「グローバル化とジェンダー規範」に関する研究会編『「ジェンダーと開発」に関する日本語文献データベース』、同CD-ROM版、『「グローバル化とジェンダー規範」参考文献データベース』CD-ROM版の編集・作成 (2003年3月) に事務局として協力。

⑧お茶の水女子大学ジェンダー研究センター編・刊『辻村みちよ資料目録』(2003年3月)

## 5. 研究指導・教育活動

### 1) 研究生

加美 芳子「日本における男女平等教育の研究」

(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

李 麗華「公的・私的領域における韓国・日本の女性のセクシュアリティ比較・研究」

(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

### 2) 学部出講・大学院担当

館 かおる

コア科目 (総合コース)：女性問題 (前期)

文教育学部：社会教育特講 (前期)

生活科学部：ジェンダー論 (後期)

人間文化研究科博士前期課程 発達社会科学専攻

開発・ジェンダー論コース：

ジェンダー基礎論 (前期)

ジェンダー基礎論演習 (後期)

開発ジェンダー論特論 (前期)

人間文化研究科博士後期課程 人間発達学専攻

ジェンダー論講座：

ジェンダー史論  
ジェンダー史論演習

伊藤 るり

コア・クラスター：グローバル化論（前期）  
人間文化研究科博士前期課程 発達社会科学専攻  
開発・ジェンダー論コース：  
国際移動ジェンダー論（前期）  
国際移動ジェンダー論演習（前期）  
開発ジェンダー論特論（前期）  
人間文化研究科博士後期課程 人間発達学専攻  
ジェンダー論講座：  
国際女性開発論演習(1)・(2)

## 6. 社会的貢献

ジェンダー研究センター

- ・平成15年2月3日（月）アラブ諸国女性訪問団、視察受け入れ。ジェンダー研究センターについて講義。
- ・その他視察受け入れ、日本の男女共同参画等現状について解説（諸外国・国内の女性関係行政部門、民間団体（NGO）の女性問題担当者等）、研究者等対象）

舘 かおる

<講師>

- ① 5月17日（金）お茶の水女子大学附属高等学校特設科目「国際協力とジェンダー」  
講義「ジェンダーセンシティブな国際協力とは？」
- ② 7月24日（水）千葉市女性センター 人材養成セミナー 教育者が学ぶジェンダーフリー  
講義「ジェンダーセンシティブになるために」「男女共同参画の現状と課題」
- ③ 8月20日（火）日米女性研究者交流（JAWS）  
講義「女性研究者はどうして少ないのか？—日本の大学教員を中心に—」
- ④ 8月23日（金）福岡市教育委員会 男女平等教育研修会  
講演「ジェンダー・フリーな教育に向けて」
- ⑤ 10月27日（日）大田区エセナフェスタ「築こう男女共同参画」 講義「日本の『婚姻制度』と社会システム」
- ⑥ 11月9日（土）人権啓発フェスティバル「人権の世紀をむかえて」パネルディスカッション
- ⑦ 11月21日（木）国際協力事業団主催「男女共同参画推進セミナー」 講演「日本女性の現状」
- ⑧ 12月4日（水）千葉市女性センター「女性学総合講座」

講義「ジェンダーの視点で見直す教育」

- ⑨ 12月13日（金）ベトナム、National Centre of Social Sciences and Humanities Center for Family and Women Studies (CEFAWS) 主催のワークショップ「Family, Gender, and Health」のSession 3 “Gender Theories and Development”にて‘Human Development and Gender in Japan’を報告
- ⑩ 平成15年2月4日（火）  
アフガニスタンの指導的女子教育者のための研修  
講義「近代女子教育史からの提言—アフガニスタンの女子教育振興プラン策定にむけて—」
- ⑪ 同2月4日（火）  
松戸市 男女平等教育推進研修会  
講義「男女共同参画社会とジェンダーフリー教育」
- ⑫ 2月8日（土）文京区 男女平等参画セミナー  
講義「ジェンダーって何？—ジェンダー論入門—」
- ⑬ 3月3日（月）国立女性教育会館/JICA 女性の教育推進セミナー 講義「女子教育にはたすお茶大ジェンダー研究センターの役割」
- ⑭ 3月18日（火）本学理学部主催シンポジウム「性を科学する」 報告「ジェンダー研究と性」

<委員>

- ・湯河原町男女共同参画懇話会会長「ゆがわら男女共同参画プラン」推進状況への助言（平成12年秋～平成15年8月）
- ・農林水産省専門技術員資格試験審査委員（平成13年6月1日～平成15年3月31日）
- ・人権教育啓発推進センター平成14年度人権啓発資料審査会（法務省委託）審査員

伊藤 るり

<講師>

- ① 6月7日（金）2002年度前期港区民大学「グローバル化のなかの様々な文化—地域・民族・宗教・ジェンダーを軸に—」於：明治学院大学  
講義「フランスにおける移民文化とジェンダー」
- ② 6月22日（土）～23日（日）Asian Studies Conference Japan  
於：上智大学市ヶ谷キャンパス  
Session24 Formations of International Knowledge in and on Asia オーガナイザーおよび報告 ‘International Feminism in Asia and the Women’s International War Crimes Tribunal’
- ③ 11月1日（金）特別共同研究「国家と民族集団」第7回国

際シンポジウム 於：国立民族学博物館

“Rethinking African History from Women’s/Gender Perspective: Slavery, Colonial Experience, National Movement and After” ディスカッション

④11月28日(木) メキシコ El Colegio de la Frontera Norte 主催の International Seminar “Immigration Policies and Human Rights: Current Trends in a New Century”にて ‘Gendered Dimensions of Migrants’ Human Rights: Focusing on Women Migrants in Japan’を報告

⑤12月5日(木)～6日(金)シンポジウム“Gender, Migration and Governance in Asia”於：オーストラリア国立大学 Session4 Increasing Feminization and Rising Civil Society ディスカッション

⑥平成15年1月30日(木) 平成14年度アフガニスタン「女性支援/ジェンダー」研修 研修員の受け入れ(アフガニスタン女性課題省カカール副大臣) 講義「ジェンダーと開発について—ジェンダーをめぐる国際的な動き—」

⑦3月25日(火) 平成14年度アフガニスタン外交官研修にて 講義 於：外務省

〈委員〉

- ・国立女性教育会館研究紀要 紀要協力委員(平成7年度～)
- ・国際協力事業団「重点課題別支援委員会(開発とジェンダー)」委員(社会学)(平成14年度) 平成15年1月17日(金)～27日(月)セネガル現地調査にてジェンダー・社会の調査分析
- ・内閣府男女共同参画会議専門委員
- ・日本学術振興会科学研究費委員会専門委員(平成15年1月1日～9月30日)

河野貴代美

〈講師〉

①11月28日(木) たかさき市民福祉セミナー 講義

②12月11日(水) 一橋大学セクシュアル・ハラスメント問題 研修懇談会 講義

〈委員〉

- ・「DV 被害者支援活動促進のための基金」運営委員(平成14年12月1日～平成17年3月31日)
- ・佐倉市男女共同参画推進会議委員

カルラ・リッセウ

〈講師〉

①10月30日(水)～11月1日(金) 特別共同研究「国家と民族集団」第7回国際シンポジウム 於：国立民族学博物館 “Rethinking African History from Women’s/Gender Perspective: Slavery, Colonial Experience, National Movement and After” ディスカッション

②11月27日(水) 高齢社会をよくする女性の会11月例会 講演「オランダのワークシェアリングについて」

シンシア・エンロー

〈講師〉

①平成15年1月9日(木) 津田塾大学国際関係研究所研究懇談会 講演 “Women in International Relations”

②1月21日(火) 東京大学ジェンダーコロキウム 講演「軍事化とジェンダー：女性の分断を超えて」

③3月5日(水) 城西国際大学大学院 Workshop 講座 講演 “Where is Gender in International Politics? Some Feminist Clues”

④3月9日(日) 基地・軍隊を許さない行動する女たちの会 主催講演会 於：沖縄県女性総合センター「ていりる」 講演「日常に潜む軍事化 ジェンダーの視点で解く」

⑤3月22日(土) アジア女性資料センター/基地・軍隊を許さない行動する女たちの会/婦人国際平和自由連盟日本支部/「女性・戦争・人権」学会主催 国際シンポジウム「フェミニストがつくる平和 軍事主義を超える」にて講演 於：明治学院大学

⑥3月24日(月) アジア女性会議ネットワーク主催フェミニスト活動家・女性国会議員・研究者と語る夕べ「戦争—暴力の連鎖—に抗した戦いのために」 基調提言「脱軍事化のために必要なこと—女性の分断を超える」

## 7. 文献・資料収集/情報提供/閲覧活動

### 1) 収集資料点数

平成14年4月から平成15年3月までに収集した資料は和漢書単行本 241冊(内重点研究経費分143冊、科学研究費分7冊)、洋書単行本114冊(内重点研究経費分64冊、科学研究費分6冊)、その他雑誌、パンフレットなど多数。

### 2) 主要収集資料

国際移動とジェンダーに関する文献・資料/ジェンダーとセクシュアリティに関する文献・資料/開発とジェンダー教育

に関する文献・資料／女性と自然科学者に関する文献・資料／リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する文献・資料／アジアの女性政策と開発に関する文献・資料／女性とたばこをめぐる関係資料／韓国の子中等教育に関する資料／韓国の女性政策に関する資料／「グローバル化とジェンダー規範」に関する研究資料など

### 3) 資料提供

- ・講談社『日本の歴史 第22巻 政党政治と天皇』のために保井コノ写真一葉を貸出。
- ・香川人権研究所主催「保井コノ展」(2002年12月7日(土)～2003年1月31日(金))での放映のためにビデオ『女性科学者の群像—保井コノ、黒田チカ、湯浅年子』を貸出。
- ・毎日新聞社出版局『2003年版専門図書館ガイド』編集のため、株式会社ウィットハウスにジェンダー研究センター図書の情報を提供。

### 4) リファレンスサービス資料及び情報の提供・閲覧・貸出・常設展示

- ・コピーサービス：常時附属図書館情報サービス・情報システム係で担当
- ・ホームページ(和文・英文)の更新実施
- ・図書以外に関する情報提供
- ・ニュースレター「IGS 通信」発行

### 5) 図書・資料寄贈(敬称略)

掲載は、和書：寄贈者名『書名』(著者名)、洋書：寄贈者名書名(イタリック)(著者名)の順とした。

財団法人日韓文化交流基金『韓国社会とジェンダー』(趙惠貞), 小林緑『ちょっと辛口・タイユフェール回想録』(ジェルメヌ・タイユフェール/フレデリック・ロベール), 昭和女子大学女性文化研究所『女性文化とジェンダー』(昭和女子大学女性文化研究所), 水田宗子『山姥たちの物語』(水田宗子・北田幸恵), 北海道女性プラザ岡田淳子『北海道の女性たち—女性プラザ10周年記念誌』(北海道女性プラザ), 京都女子大学『京都女子大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程完成記念論文集』(京都女子大学), Ewha Womans University *Women's Studies in Asia 2000, I-II* (Korean Women's Institute), 館かおる『AERA Mook ジェンダーがわかる』(朝日新聞社), 池内ひろ美『壊れかけ夫婦のトラブル、解決します』(池内ひろ美), 酒井順子『記憶から歴史へ—オーラル・ヒストリーの世界』(ポール・トンプソン), *Japanese Bankers*

*in the City of London* (Junko Sakai), 宇野重昭『北東アジア世界の形成と展開』(宇野重昭・増田祐司), 『21世紀北東アジアの地域発展』(宇野重昭・増田祐司), 『北東アジア研究と開発研究』(宇野重昭), 稲葉奈々子『国際結婚におけるタイ人女性の現状』(茨城大学地域総合研究所調査チーム), 日本女性学習財団『図説 女性と高齢社会』(財団法人日本女性学習財団), 勉誠出版『アジア遊学 No.43』(勉誠出版), ティーンズポスト『みんな子どもだった』(ティーンズポスト), 日本女子大学成瀬記念館『未来を夢みてここに集う』(日本女子大学成瀬記念館), Sr. Mary John Mananzan *The Woman Question in the Philippines* (Sr. Mary John Mananzan), *Women Resisting Violence* (Sr. Mary John Mananzan et. al.), *Woman & Religion* (Sr. Mary John Mananzan), *Beyond Bonding* (Virginia Fabella, M. M.), 小島宏『途上国の人口移動とジェンダー』(早瀬保子), 高見澤たか子『自立する老後のために』(高見澤たか子), 岩波書店『岩波女性学事典』(井上輝子他), Vera Mackie *Creating Socialist Women in Japan* (Vera Mackie), *Human Rights and Gender Politics* (Ann-Marie Hilsdon et. al.), Govind Kelkar *Gender and Tribe* (Govind Kelkar et.al.), *Gender and Environment Research in Asia* (Francesca M. Jones et.al.), 安達みち代『近代フェミニズムの誕生』(安達みち代), 金沢大学『金沢大学50年史(通史編)』(金沢大学50年史編纂委員会), 京都橘女子大学女性歴史文化研究所『京都の女性史』(京都橘女子大学女性歴史文化研究所), 波平恵美子『慰安婦と戦場の性』(秦郁彦), 伊藤るり『開発とジェンダー』(田中由美子他), 根村直美『ジェンダーで読む健康/セクシュアリティ—健康とジェンダーII』(根村直美), 健康事業総合財団[東京顕微鏡院]『女性たちの医療革命』(日米メディカルシンポジウム事務局), 柏木恵子『心理学とジェンダー』(柏木恵子・高橋恵子), 国立女性教育会館『女性情報シソーラス』(国立女性教育会館), 風野寿美子『シンガポールの女性たち』(風野寿美子), 伊藤るり『環 Vol.12』(藤原書店), 東京家政大学人間文化研究所『東京家政大学卒業生の就業状況と職業観・ジェンダー意識の関係』(東京家政大学人間文化研究所), 伊藤陽一『ジェンダー統計関係論文等(日本)集成』No.1・No.2(伊藤陽一他), 鈴木江理子『地域における多文化共生に関する基礎調査(FIF Monograph No.5-2)』(鈴木江理子), 日本女子大学成瀬記念館『澤山保羅』(成瀬仁蔵), 不二出版『性と生殖の人権問題資料集成』第9巻・第10巻・第11巻・第12巻・第13巻・第14巻(不二出版), 津田塾大学『津田塾大学100年史』(津田塾大学), 『津田塾大学100年史 資料篇』

(津田塾大学), 平凡社『総力戦体制からグローバリゼーションへ』(山之内靖・酒井直樹), 佐藤千登勢『軍需産業と女性労働』(佐藤千登勢), 吉川弘文館『日本近世ジェンダー論』(長野ひろ子)

**6) 来館・閲覧者(抄)(敬称略、表記は記名による)**

平成14年4月1日 金井香里(東京大学大学院教育学研究科D4), 4月3日 田中洋美(Ruhr Univ. Bochum), 4月5日 雑賀葉子(内閣府男女共同参画局), 4月15日 村山真弓(アジア経済研究所), 4月16日 小田亜紀子, 4月19日 田中洋美(ジェンダー研究センター研究協力員), 4月24日 酒井順子(ジェンダー研究センター研究協力員), 西岡晋(早稲田大学大学院D2), 4月26日 田中洋美(ジェンダー研究センター研究協力員), 5月9日 盧英順(淑明女子大学校), 丁熙静(淑明女子大学校), 5月10日 海妻径子(卒業生), 田口亜紗(成城大学大学院), 5月16日 蔣芝英(日本女子大学修士2年), 5月20日 中川八洋(筑波大学歴人学系), 北優路(筑波大学第三学群), 5月31日 福富護(東京学芸大学教授), 6月3日 井上えり子(鳥取大学教育地域科学部助教授), 6月4日 橋本みゆき(立教大学D4), 6月4日 鈴木奈穂美(日本女子大学大学院D3), 6月20日 田口瑞江(講談社学芸部), 本山央子(立教大学M2), 7月1日 魚住明代(城西国際大学), 7月8日 謝凱雯(明治大学経営研究科博士課程大学院生), 7月11日 杉本裕代(都立大学M2), 7月12日 広木道子(CAW ネット・ジャパン代表), Binda Pardy (AIT [アジア工科大学]), 7月18日 Joan Judge (Univ. of California, Associate Professor), 7月22日 清水美知子(関西国際大学人間学部), 7月25日 ケリアン・パノス(ロンドン大学アフリカ・アジア研究所大学院生), Sr. Mary John Mananzan (St. Scholastica's College), 瀧道子(日本財団), 7月26日 ケリアン・パノス(ロンドン大学アフリカ・アジア研究所大学院生), 瀧道子(日本財団), 7月30日 秋山恵美子(千代田区女性史サークル), 7月31日 八島研悟(中央大学経済学部2年), 8月5日 岩間郁実(上智大学学生), 8月15日 王海陽(横浜国立大学院生), 8月19日 滝沢真弓(附属高校卒業生), 8月26日 青山薫(Univ. of Essex, UK) 8月27日・29日・30日 高木明日香(日本大学教育学専攻M2), 9月5日 湯川嘉津美(上智大学教員), Bonvini Silvia (Milan Univ.), 9月6日 小野美里(横浜国立大学科目履修生), 9月10日 八木江里(元東洋大学), 林春雄(JWCU センター事業団), 9月11日 松本聡子(早稲田大学D5), 9月

17日 山下愛子(元聖学院大学), 9月18日 興水はる海, 10月1日・3日 申琪榮 (Univ. of Washington), 10月7日 長谷川和美, 金友久美子(一橋大学院社会学研究科M1), 10月8日 渡辺智子(明治大学文学部3年), 10月15日 増沢絵理(淑徳大学社会学部4年), 高木明日香(日本大学大学院M2), 10月17日 那須崇(青山学院大学4年), 10月18日 鈴井江三子(広島県立保健福祉大学助教授), 関田文乃(東京学芸大学大学院), 10月25日 Mara Patessio (Cambridge Univ.), 10月28日 山下愛子, 11月1日 J. Alam (国際大学), 11月7日 竹田照子, 11月11日・12日 片山須美子(大阪市立大学哲学歴史学専攻D1), 11月12日 Mara Patessio (ケンブリッジ大学博士課程), 11月15日 柴彦威(北京大学副教授), 谷人旭(華東師範大学教授), 菊地原陽(日本大学4年), 11月22日 劉季樺(JET 日本語学校), 黒田真代(京都女子大学4回生), 11月27日 伊賀崇子(大谷大学), 登美舞子(明治学院大学), アクヤシヤル・ギョズデ(国際交流基金研修生), 11月28日 日高和笑(宮崎中央西在宅介護支援センター), 12月5日 山本有紀乃(不二出版), 12月6日 菅原英彦(専修大学卒業生), 12月16日・17日 竹中理恵(金沢大学大学院), 12月17日 清水賢一(桜美林学園評議員), 12月18日 室伏圭子(武蔵大学大学院M2), 12月20日 竹田照子, 滝野晶子(明治大学M2), 夏井麻優子(早稲田大学教育学部4年), 荒木乳根子(田園調布学園大学教授), 12月27日 服部尚子(東京大学学部4年), 和田真祐子(東京大学大学院), 平成15年1月16日 山蔭昭子(大阪外国語大学留学生日本語教育センター助教授), 1月29日・31日 樽松仁子(埼玉大学大学院), 2月7日 延基榮(大韓民国東國大學校法科大学長), 2月7日・14日 水流晶子(東京大学大学院), 2月10日 村上薫(アジア経済研究所), 2月13日 Febe D. Pamonag (Univ. of Alberta, Ph.D. Candidate), 島田洋子(京都学園大学教官), 吉中康子(京都学園大学教官), 石田純子(京都学園大学教官), 神谷治美(京都学園大学教官), 2月17日 岡本ウエンディ(Univ. of Queensland, Ph.D. student), 2月20日 羽畑真紀(大阪府立岸和田高校), 2月27日 A. Germer (ドイツ日本研究所), 荒木乳根子(田園調布学園大学教授), 3月4日 船橋邦子(卒業生), 3月7日 金子省子(卒業生), 3月14日 光末紀子(神戸大学国際文化学部職員), 3月20日 中島みか(一橋大学大学院研究科), 3月25日 関口すみ子(東京大学大学院D3), 廣重寿子(ジェンダー研究センター研究協力員)